

授業科目 看護倫理学 (CNS コース)	科目概要・形式 2 単位 30 時間(15 コマ) 講義科目	配当年次 博士前期 1 年次 後期開講	オンライン参加 ☐ ・不可 (下記 6, 7 参照)
科目責任者	福井幸子		
担 当 者	福井幸子、佐藤 愛、新改法子、角田ますみ（非常勤）、安高久美子（非常勤）		
1. 科目のねらい・目標			
ねらい ヘルスケアの現場で看護職が直面する倫理的課題を把握し、倫理的意思決定能力を高めるために倫理に関する基本的概念や理論を学び、さらに、倫理的な問題・葛藤について関係者間での調整を行う上で求められる高度実践看護師の活動について探究する。また、看護研究における倫理的配慮について学ぶ。			
目標 1) 倫理的感受性を高め、ヘルスケアの現場に存在する多様な倫理的課題について説明できる。 2) 倫理的分析と意思決定の方法を学び、看護を実践する中で遭遇する倫理的課題の解決に向けた行動について説明できる。 3) 倫理的な問題や葛藤を解決するために必要な高度実践看護師の役割について説明できる。 4) 人を対象とした医学研究や看護研究を行う際に必要な倫理的配慮について説明できる。			
2. 授業計画・内容			
1) 授業計画			
第 1-3 回 生命倫理と看護倫理の定義・意義 [福井幸子] 生命倫理学が誕生した背景、生命倫理の原則、看護倫理とは何か、倫理的課題とは何か、看護専門職の責務としての看護倫理の意義 看護実践上で倫理的課題に遭遇する場面、倫理的分析と意思決定			
第4-6 回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [佐藤 愛][角田ますみ] ①生命倫理に関する事例 ②終末期の意思決定に関する事例 ③高齢患者の看護に存在する倫理的問題の事例			
第7-10 回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [新改法子、福井幸子] ④在宅医療を受けている患者並びに家族に存在する倫理的問題の事例 ⑤他職種との協働・調整において存在する倫理的問題の事例			
第11-12 回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [安高久美子] ⑥がん告知、インフォームドコンセントに関する事例			
第13-15回 倫理的問題に対応する高度実践看護師の役割 [福井幸子] 看護臨床研究における倫理的配慮			
2) 授業内容 配布資料を用いた講義と、事例分析の演習			
3. 教科書、参考書			
必要時、お知らせします。			
4. 成績評価方法			
①課題プレゼンテーション、ディスカッション（30%） ②レポート（70%）			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
夜間開講を予定しています。講義の日時およびオンライン授業等は相談に応じます。			
7. その他			
本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。オンラインおよびオンデマンドによる授業を希望する場合は事前に教員に相談してください。			